

BUNKYO UNIVERSITY

International Exchange Programs 2017



国際交流活動の窓口

国際交流センター 国際交流室 [越谷校舎 11号館1階]

窓口取扱時間 月～金 9:00～16:30
土 9:00～11:30

〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337
TEL. 048-974-8811 (代表番号)



国際交流センター 国際交流室 [湘南校舎 事務棟2階]

窓口取扱時間 月～金 9:00～16:40
土 9:00～11:30

〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
TEL. 0467-53-2111 (代表番号)



国際交流ガイド2017
発行日：2017年4月1日 発行：文教大学国際交流センター

International Exchange Programs 2017

国際交流ガイド
2017

Dream!



留学。みたたくなる 行つて

大学生の
“今”だからこそ
世界に触れる
チャンスです!



文教大学の国際交流

海外協定機関一覧

中国、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、ニュージーランド、オーストラリア、タイ、ベトナム、韓国、マレーシア、モンゴルと、着々と増えつつきている文教大学の海外協定校ネットワーク。



1 南開大学 [天津]
Nankai University
創立年 1919年 学生数 約65,000名
協定締結 1989年5月
<http://www.nankai.edu.cn/>

2 北京大学 外国語学院 [北京]
School of Foreign Languages, Peking University
創立年 1999年 学生数 約1,200名以上
協定締結 2012年4月※本学大学院言語文化研究科及び文学部に於いて締結
<http://sfl.pku.edu.cn/>

3 北京外国語大学 [北京]
Beijing Foreign Studies University
創立年 1941年 学生数 約7,000名
協定締結 2012年9月
<http://www.bfsu.edu.cn/>

4 華東師範大学 [上海]
East China Normal University
創立年 1951年 学生数 約26,000名
協定締結 2016年1月
<http://www.ecnu.edu.cn/>

5 北京師範大学珠海分校 [珠海]
Beijing Normal University, Zhuhai
創立年 2001年 学生数 約20,000名以上
協定締結 2015年10月
<http://www.bnuz.edu.cn/>

6 モンゴル国立科学技術大学 [ウランバートル]
Mongolian University of Science and Technology
創立年 1969年 学生数 約20,000名
協定締結 2016年3月
<http://www.must.edu.mn/>

7 韓国外国語大学校 [ソウル]
Hankuk University of Foreign Studies
創立年 1954年 学生数 約23,000名
協定締結 2005年12月
<http://www.hufs.ac.kr>

8 韓国誠信女子大学校 [ソウル]
Sungshin Women's University
創立年 1936年 学生数 約13,000名
協定締結 2014年6月
<http://new.sungshin.ac.kr/>

9 韓国極東大学校 [忠北陰城]
Far East University
創立年 1991年 学生数 約4,000名
協定締結 2006年10月
<http://www.kdu.ac.kr>

10 マギル大学 [モントリオール]
McGill University
創立年 1821年 学生数 約40,000名
協定締結 2015年1月※本学文学部と締結
<http://www.mcgill.ca/>

11 エドモンズコミュニティカレッジ [リンウッド]
Edmonds Community College
創立年 1967年 学生数 約12,000名
協定締結 2008年12月
<http://www.edcc.edu/>

12 コンコーディア大学 [ポートランド]
Concordia University
創立年 1905年 学生数 約5,000名
協定締結 2002年11月
<http://www.cu-portland.edu/>

13 オレゴン州立大学 [コーバリス]
Oregon State University
創立年 1868年 学生数 約26,400名
協定締結 1999年11月
<http://oregonstate.edu/>

14 チャールズ郡教育委員会 [チャールズ郡]
Charles County Board of Education
協定締結 2007年5月
※本学教育学部と締結
<http://www.ccboe.com/>

15 アーカンソー大学 フォートスミス校 [フォートスミス]
University of Arkansas, Fort Smith
創立年 1928年 学生数 約7,200名
協定締結 2007年5月
<http://uafs.edu/>

16 ハワイ大学 マノア校 旅行産業経営学科 [オアフ島]
School of Travel Industry Management, University of Hawaii at Manoa
創立年 1907年 学生数 約20,400名
協定締結 2008年6月 ※本学国際学部と締結
<http://www.uhm.hawaii.edu/>

17 カンタベリー大学 [クライストチャーチ]
University of Canterbury
創立年 1873年 学生数 約22,000名
協定締結 1996年11月
<http://www.canterbury.ac.nz/>

18 モナシュ大学 [メルボルン]
Monash University
創立年 1958年 学生数 約60,000名
協定締結 2002年8月
<http://www.monash.edu.au/>

19 プリンスオブソクラ大学 [ハジャイ・ブーケット他]
Prince of Songkla University
創立年 1967年 学生数 約20,000名
協定締結 2000年7月
<http://www.psu.ac.th/>

20 FPT大学 [ハノイ]
FPT University
創立年 2007年1月 学生数 約7,000名
協定締結 2009年9月
<http://www.fpt.edu.vn/>

21 ウタラ大学 [シントク]
Northern University of Malaysia
創立年 1984年 学生数 約30,000名
協定締結 2010年8月※本学国際学部と締結
<http://www.uum.edu.my/>

22 サリー大学 [ギルフォード]
University of Surrey
創立年 1891年 学生数 約13,000名
協定締結 2015年3月 ※本学国際学部と締結
<http://www.surrey.ac.uk/>

23 デュッセルドルフ大学 [デュッセルドルフ]
Heinrich-Heine University Düsseldorf
創立年 1965年 学生数 約26,000名
協定締結 1997年1月
<http://www.uni-duesseldorf.de/>

24 オズナブリュック大学 社会科学部 [オズナブリュック]
School of Social Sciences, University of Osnabrück
創立年 1974年 学生数 約11,000名
協定締結 2011年12月※本学国際学部及び国際学研究所にて締結
<http://www.uni-osnabrueck.de/>

文教大学の国際交流プログラム

文教大学には、在学したまま海外で学べる下記の留学、海外研修プログラムがあります。
自分の目的にあった制度を利用し、世界を感じ世界を学びましょう。

1セメスター以上の留学

●…参加が可能 △…参加の可能性あり

協定校派遣留学

本学と協定を結んだ外国の大学等へ本学から派遣され留学する制度です。

対象者 出願資格を満たし選考に合格した者
留学期間 原則1年以内 **単位認定** 可



留学先	越谷校舎			湘南校舎			
	教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部
ニュージーランド カンタベリー大学	●	●	●	●	●		●
アメリカ合衆国 コンコーディア大学 アーカンソー大学フォートスミス校 エドモンスコミュニティカレッジ	●	●	●	●	●		●
ドイツ連邦共和国 デュッセルドルフ大学	●	●	●	●	●		●
中華人民共和国 北京外国語大学 南開大学 華東師範大学 北京師範大学珠海分校	●	●	●	●	●		●
大韓民国 韓国外国語大学校 韓国極東大学校 韓国誠信女子大学校	●	●	●	●	●		●
ベトナム FPT大学	●	●	●	●	●		●

認定留学

学部が当該学部生の留学先として適当と認定した海外の大学等への留学です。

対象者 所属学部教授会の議を経て、学長の許可を得た者
留学期間 原則1年以内 **単位認定** 可

留学先	越谷校舎			湘南校舎			
	教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部
学部教授会の議を経て、留学先として適当と認定された機関	●	●	●	●	●		●
中国語研修/認定留学プログラム認定校(現在9校)			●				

※ 中国語研修の留学期間は原則1セメスターです。

文学部外国語学科

・プログラムA(※)
・プログラムB(※)

北米、オセアニア、アジアの英語圏で実践的に英語を学び、異文化理解を深めることを目的としています。

対象者 文学部外国語学科2年生
留学期間 1セメスター **単位認定** 可

留学先(※)	越谷校舎			湘南校舎			
	教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部
A マレーシア アジアパンフィック大学			●				
UCSI(University College Sedaya International)大学			●				
B ニュージーランド カンタベリー大学			●				
アメリカ合衆国 ミンガン州立大学			●				
カナダ プリティッシュコロンビア大学			●				
ケイプブレトン大学			●				

※ プログラム名および留学先は予定です。変更の可能性あります。

国際学部短期留学

英語能力向上、異文化理解、国際関係への関心を深めることを目的とした国際学部の留学制度です。

対象者 国際学部で定める参加資格を満たした者
留学期間 1セメスター **単位認定** 可

留学先	越谷校舎			湘南校舎			
	教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部
オーストラリア モナシュ大学					●		
アメリカ合衆国 オレゴン州立大学					●		
タイ プリンスオブソンクラ大学					●		

協定校派遣留学

本学と協定を結んでいる海外の大学院へ本学から派遣され留学する制度です。

対象者 出願資格を満たし選考に合格した者
留学期間 原則1年以内 **単位認定** 可

留学先	越谷校舎			湘南校舎	
	教育学部	人間科学部	言語文化研究科	情報学研究科	国際学研究科
中華人民共和国 北京外国語大学			●		

学部生向け

大学院生向け

※ 休学して留学する場合は、留学期間は本学の修業年限とならず、単位認定はありません。
注) 参加が可能な印が記載されている場合でも、全ての学部生が参加できるとは限りません。各留学・各研修に参加するには、更に細かな参加資格が定められている場合があります。詳細については、各プログラムのページで確認するか、または国際交流室までお問い合わせください。

●…参加が可能 △…参加の可能性あり

約1週間~1ヶ月間の海外研修プログラム

海外研修プログラム

各学部における修学目的に沿った海外研修プログラムを計画・実施しています。

対象者 留学期間 単位認定
各プログラムにより異なります。



海外研修プログラム	越谷校舎			湘南校舎			
	教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部
アジア研修	●	●	●	●	●	●	●
モナシュ大学春期集中英語研修	●	●	●	●	●	●	●
アメリカ学校教育研修	●	△	△				
海外人間科学北欧研修(スカンジナビアスローライフ)		●					
中国日本語教育研修			●				
シドニー大学日本語教育研修			●				
イギリス語学・文化研修			●				
アメリカ・コンコーディア大学短期留学プログラム			●				
アメリカ・コンコーディア大学教員養成プログラム			●				
マギル大学英語・文化集中プログラム			●				
マギル大学夏期イマージョン・プログラム			●				
マギル大学春期イマージョン・プログラム			●				
マルタ夏期英語研修			●				
マルタ春期英語研修			●				
中国短期語学・文化研修			●				
ベトナム文化・産業体験研修	△	△	△	●	△	△	△
モンゴル異文化理解・共生体験研修	△	△	△	●	△	△	△
ホスピタリティ・マネジメント研修					●		
リゾート・マネジメント研修					●		
英国カルチュラル・ツーリズム&英語研修	△	△	△	△	●	△	△
ニューヨーク国連研修				△	●	△	△
北米地域(ニューヨーク)研修							●
韓国経済・社会・文化体験研修							●

学部生向け

●…参加が可能 △…参加の可能性あり

約1週間~1ヶ月の海外研修プログラム

海外研修プログラム	越谷校舎			湘南校舎	
	教育学部研究科	人間科学研究科	言語文化研究科	情報学研究科	国際学研究科
(文学部主催)中国日本語教育研修			●		
(文学部主催)シドニー大学日本語教育研修			●		
(文学部主催)アメリカコンコーディア大学教員養成プログラム			●		
(情報学部主催)ベトナム文化・産業体験研修				●	
(情報学部主催)モンゴル異文化理解・共生体験研修				●	

※ 大学院生向け海外研修プログラムは、上記以外にも学部が主催するプログラムへの参加の可能性あります。詳細については、国際交流室にお問合せください。

2週間以上~6ヶ月以内の海外研修プログラム

海外研修プログラム	越谷校舎			湘南校舎	
	教育学部研究科	人間科学研究科	言語文化研究科	情報学研究科	国際学研究科
(言語文化研究科主催)北京外国語大学東アジア地域グローバル人材育成プログラム			●		

大学院生向け

協定校派遣留学

学部生向け

文教大学の海外協定校のうち、下記の大学へ本学の学生を留学生として派遣する制度です。留学期間は本学の修業年限に算入され、派遣先で修得した単位は認定を受けることができるため、4年間で卒業することも可能です。学納金については、基本的に、留学先大学の授業料は免除、本学への授業料及び学籍維持費(2017年度9万円)の納入となります。(*1)

国	派遣先大学名	派遣人数	留学期間	本学出願条件	派遣先大学受入条件(*2)	説明会開催時期	募集時期
ニュージーランド	カンタベリー大学	1名以内	2018年2月から約1年間	TOEFL-iBT 46点以上	(学部入学条件) TOEFL-iBT 80点以上(*7) [派遣先大学連携語学学校入学条件] TOEFL-iBT 46点以上(*3)(*7)	2017年 4月・5月頃	2017年 6月頃 (*5)
ドイツ連邦共和国	デュッセルドルフ大学	2名以内	2018年4月から約1年間	独検 4級以上	独検 3級以上(*4)		
大韓民国	韓国外国語大学校	2名以内	2018年3月から約1年間or半年間	韓国語能力試験を受験していること(未受験者は、同試験を受験すること)	韓国語能力試験を受験していること	2017年 7月・10月頃	2018年 1月頃
	韓国極東大学校	2名以内	2018年3月から約1年間				
	韓国誠信女子大学校	2名以内(*6)	[1期]2018年3月から約1年間or半年間 [2期]2018年9月から約1年間or半年間				
中華人民共和国	北京外国語大学	2名以内(*6)	[1期]2018年2月から約1年間or半年間	HSK 3級以上	2017年 4月・5月頃	2017年 6月頃 (*5)	
	北京師範大学 珠海分校	2名以内(*6)					
	華東師範大学	2名以内(*6)	[2期]2018年9月から約1年間or半年間				
	南開大学	2名以内	2018年9月から約1年間				
ベトナム	FPT大学	2名以内(*6)	[1期]2018年5月から約1年間or半年間 [2期]2018年9月から約半年間	英検準2級以上 or TOEIC 500点以上 or TOEFL-iBT 45点以上	2017年 4月・5月頃	2017年 6月頃(*5)	
アメリカ合衆国	コンコーディア大学	2名以内	2018年8月から約1年間or半年間	TOEFL-iBT71点以上(*8) or 英検準1級以上	2017年 7月・10月頃	2018年 1月頃	
	アーカンソー大学 フォートスミス校	2名以内	2018年8月から約1年間or半年間	TOEFL-iBT71点以上			
	エドモンズ コミュニティカレッジ	3名以内	2018年9月から約半年間	TOEFL-iBT54点以上 or 英検準1級以上			

(*1)ただし、コンコーディア大学とエドモンズコミュニティカレッジの場合は、本学に学籍維持費のみを納入し、かつ留学先に授業料を納入します。なお、授業料の額は、コンコーディア大学の場合は、本学授業料相当額、エドモンズコミュニティカレッジの場合は、先方の正規の授業料額となります。
 (*2)派遣先大学の入学条件である語学力のスコアは、予告なく変更される場合があります。上記は、2017年1月現在の情報です。相手先大学が入学条件を変更した場合、派遣先大学が指定する語学力の基準を満たさなければ相手先大学に留学が認められません。
 (*3)カンタベリー大学連携語学学校であるCCCEL(Christchurch College of English)に留学します(費用は自己負担)。CCCELから留学を開始する場合、留学開始時期は、2018年4月となります。カンタベリー大学入学基準をクリアした場合は、カンタベリー大学学部への編入が可能です。
 (*4)デュッセルドルフ大学派遣留学生は、デュッセルドルフ大学と協定を結ぶ語学学校で語学コースを履修することができます(費用は自己負担)。
 (*5)1年生はカンタベリー大学、デュッセルドルフ大学、韓国外国語大学校、韓国極東大学校、韓国誠信女子大学校(1期)、北京外国語大学(1期)、北京師範大学珠海分校(1期)、華東師範大学(1期)、FPT大学(1期)には出願できません。
 (*6)1期・2期に派遣する人数は、1期と2期合わせて計2名以内です。1期に派遣人数が2名に達した場合、2期は募集しません。
 (*7)TOEFLの各セクション及びエッセイにスコアの最低基準が設けられています。
 (*8)コンコーディア大学について、現地で受けるプレシメントテストの結果により、英語力が不十分と判断された場合には、語学学校に入学する必要があります(費用は自己負担)。

大学院生向け

文教大学の海外協定校のうち、下記の大学へ本学の大学院生を留学生として派遣する制度です。留学期間は本学の在学年数に算入され、そのうち1年までは修業年限に算入することができます。派遣先で修得した単位の一部を本学の単位として認定を受けることができるため、標準修了年限内に修了することも可能です。学納金については、基本的に、留学先大学の授業料は免除、本学への授業料及び教育充実費(2017年度10万円)の納入となります。

国	派遣先大学名	派遣人数	留学期間	本学出願条件	説明会開催時期	募集時期
中華人民共和国	北京外国語大学	2名以内(*1)	[1期]2018年3月から約1年間or半年間	大学院言語文化研究科在学中で、出発(留学開始)時に1年以上本学に在学し、1ヶ年について修士課程は18単位以上、博士後期課程は4単位以上を修得した(もしくは修得見込)者	2017年 9月頃 (*2)	2017年 9月頃 (*2)
			[2期]2018年9月から約1年間or半年間		2017年 10月頃 (*2)	2018年 1月頃 (*2)

(*1) 1期・2期に派遣する人数は、1期と2期合わせて計2名以内です。1期に派遣人数が2名に達した場合、2期は募集しません。
 (*2) 説明会開催時期及び募集時期は年度により異なります。必ず国際交流室に確認してください。

協定校派遣留学生からのメッセージ

魅力ある街、充実した留学

2011年度 デュッセルドルフ大学派遣留学生

文学部 高橋 祥一さん

この留学では、ドイツでも有数の大都市に住むことができ、人種も多種多様な人々がいて、世界の一角を見ることができます。大学は日本学科もあり、日本に興味のある学生も多く、ネイティブと話す機会には困りません。派遣留学という制度上、留学中のドイツ国外旅行の禁止など制限される部分もありますが、交換留学生という身分は安定していて、かなり恵まれています。また、なんといってもこの街と大学には魅力があふれ、充実した留学生活を送ることができると思います。心掛け次第では、語学力を伸ばす大きな好機にできるはずです。



「クラスメイトと一緒に」
右から2番目が高橋さん

ほんの少しの勇気をもって

2014年度 韓国外国語大学校派遣留学生

国際学部 林 真代さん

これまでの慣れた環境から離れた異国の地への留学を決意するのは、決して容易いことではないと思います。私自身も以前は、海外への憧れを感じるだけで満足していた部分もありました。しかし、人生に一度きりしかない大学生活。何か特別な経験をしておきたいという思いで韓国外国語大学校への留学を決めました。近くて遠い国ともいわれる韓国ですが、日常生活の至る所で日本との違いを発見することが出来ます。わたしはこの留学をきっかけに、語学力だけでなく一生忘れることのできない思い出と、韓国はもちろん世界中にたくさんの素敵な友達を作ることが出来ました。ほんの少しの勇気をもって、皆さんにも自分を変えるチャンスを掴んでみてほしいと思います。



「修了式の日に記念写真」
前列右から4番目が林さん

語学以外に得られるもの

2016年度 韓国誠信女子大学校派遣留学生

経営学部 富谷 明里さん

留学前の私の韓国語レベルはハングルが読める程度でしたが、文法を使い会話ができるようになりました。日本人比率が少ない学校ということもあって他国の友達が多くでき、韓国語を使いながら楽しく国際交流することができました。留学生活は語学だけではなく、それ以外にも素敵な経験ができるのが大きな魅力だと思います。それは人によって異なってくると思いますが、私は日韓・国際交流を通じ、日本に住んでいたら出会えないような海外の友達との出会い、将来の夢を韓国で見つけることができました。皆さんも留学を通して自分だけの経験を見つけてみてください。



「クラスメイトと遠足」
前列右が富谷さん

協定校派遣留学生からのメッセージ

留学の価値

2015年度 北京外国語大学派遣留学生

文学部 松井 美紗登さん

中国にマイナスなイメージを持つ日本人が多い中、北京での生活を通して、イメージのみで決めつける事は全く無意味だと痛感しました。私はこちらで多くの親切な中国の方に出会いました。先入観から彼らとの交流を断つことは本当に残念なことだと感じます。また、現地で学ぶ中国語は日本で学ぶ中国語と違います。世界各国からの留学生との授業は楽しく刺激的です。もし中国に留学したいと少しでも思っているならば、迷わず挑戦してみてください。ここで出会うものや人は自分にとって大きな価値になります。絶対に後悔はしません。



「卒業式典後、先生、クラスメイトと一緒に」
左から2番目が松井さん

充実した留学生活

2015年度 南開大学派遣留学生

文学部 篠田 美久さん

私はこの留学を通して、様々な面で成長することができました。中国に来たばかりの頃は、中国語を話すことも聞くこともなかなかできず、とても悔しい思いをしていました。しかし日々の生活や授業で中国語を話し聞くことで、徐々に自分の中国語が上達していることに気がつきました。留学は得ることがたくさんあり、中国以外の他の国についても知る機会がたくさんあります。そんな充実した毎日を皆さんにも体験してほしいです。



「クラスのみんなど」
2列目左から4番目が篠田さん

出会い。経験。成長。自信。「なりたい自分に」

2015年度 FPT大学派遣留学生

国際学部 川口 沙希さん

経済が急成長中のベトナム。世界中の学生と寮生活。日本人が自分以外いない。そんな環境を体験できるのが、この留学です。FPT大学では全ての授業が「英語」のため、欧米に行かなくても英語を学べます。4ヶ月で自分の考えや価値観が大きく変わり、自信も持てるようになりました。長期インターン、ボランティア、アジア人旅などをしてきましたが、学生時代に一番濃い経験は「留学」だったと思います。また、向上した英語力が認められ、卒業後は企業の海外事業部で働くことになりました。みなさんも「なりたい自分」になるためには是非挑戦してみてください。



「国際交流フェスティバルにて」
左から3番目が川口さん

とにかく一歩を踏み出す！

2015年度 コンコーディア大学派遣留学生

文学部 石井 達也さん

僕は昨夏に5週間の短期留学プログラムでコンコーディア大学に行きましたが、それはあまりにも短く、英語の上達も満足出来るほどではありませんでした。今回の長期留学では前回の経験を活かし、積極的に現地の学生とコミュニケーションを取ろうと努めました。現地では多くの友人ができ、英語を話す機会に恵まれました。そのおかげで、英会話に対する苦手意識がなくなったように思えます。完璧な英文を発信できなくても、相手は理解しようとしてくれます。とりあえず何が言ってみる、とにかく一歩を踏み出すことが重要です！



「留学生クラブでChristmas Party」
前列左から3番目トナカイの帽子が石井さん

問いへの出会い

2015年度 アーカンソー大学派遣留学生

国際学部 木村 浩樹さん

留学で得るものは人それぞれである。私の場合は追い求めたい問いとの出会いが印象的だった。TOEFLで測りきれない英語力がコミュニケーションする上でどれだけ大事かということ、文法書では説明できない文法が存在等を、ネイティブの英語に浸ることで感覚的に意識できた。それでは一体TOEFLで測りきれない英語力とは何か、文法書では説明できない文法とは何か、留学中に浮かんだ疑問が帰国後の私の学びの中心になった。留学をすればさまざまな出会いや異文化体験ができるが、「何か成長できた」で終わってしまったのはもったいない。是非皆さんにとっても留学が問いへと出会えるきっかけとなってほしいと思う。



「クラブ活動の様子」 右が木村さん

留学を通して気づけること

2014年度 エドモンズコミュニティカレッジ派遣留学生

国際学部 関 郁美さん

私はこの留学を通して現地の方はもちろん、中国、韓国、ベトナム、アフリカ等、多様な国々から来た学生達と関わり合うことができました。彼らとの出会いや留学での経験を通して、私は英語を学ぶと同時に自分が本当にやりたいこと、自分に出来ること、出来ないことをじっくりと考え、見つめ直すことができました。新しい環境に最初は戸惑うことや落ち込むこともあります。積極的に周りの人々と関わろうと努力すれば、結果は必ず後からついてきます。日本とは異なるアメリカの学生生活を味わいながら英語を学べる機会は留学以外にはないでしょう。大きな決断ではあると思いますが、ぜひ勇気を出して留学にチャレンジしてみてください。



「学校の友達と一緒に」 前列左端が関さん

認定留学

認定留学とは、学部教授会が学生の留学先として適当と認定した外国の大学に学長の許可を得て留学するプログラムです。留学期間は原則1セメスター(半年)で、大学構内の寮に住みます。

※留学期間は本学の修業年限としてカウントされ、留学先で修得した単位も本学の単位として認定されますので、4年間で卒業することが可能です。
※本学および留学先の授業料等は自己負担となりますが、本学の教育充実費の一部が免除されます。

文学部 中国語中国文学科 中国語研修／認定留学プログラム

中国・台湾に所在する認定校9校に、中国語の語学研修を中心に留学するプログラムです。このプログラムは、2年次秋学期から4年次春学期までの期間に1セメスター(半年)を基本として認められます。本プログラムに参加する学生は、自らを律し、勉学に精励できる学生でなければならないので、選考があります。なお、2017年4月現在、32セメスターで延べ80名の学生がこのプログラムに参加しました。

認定校	
中国	<ul style="list-style-type: none"> ● 首都師範大学(北京) ● 北京外国語大学(北京) ● 南開大学(天津) ● 西安外国語大学(西安) ● 華東師範大学(上海) ● 同済大学(上海)
台湾	<ul style="list-style-type: none"> ● 台湾師範大学(台北) ● 政治大学(台北) ● 成功大学(台南)

認定留学／文学部中国語中国文学科 中国語研修 留学先別の参加者延べ数							
実施年数	首都師範大学	同済大学	華東師範大学	南開大学	北京外国語大学	台湾師範大学	延べ数
16年間	35	20	11	4	8	2	80

※平成13年度から開始し、平成28年度の16年間で、延べ80名が参加しています。

文学部外国語学科 プログラムA & プログラムB (2年次春学期)

このプログラムは、文教大学文学部外国語学科2年次の春学期に、必修科目としてすべての学科生が海外留学を体験するものです。

アジア、北米、オセアニアの英語圏で実践的に英語を学び、異文化理解を深めます。

※平成30(2018)年度に実施が予定されています。※プログラム名及び留学先は予定です。変更の可能性があります。

プログラム名	参加対象	実施時期・期間	留学先	
プログラムA	文学部 外国語学科 2年生全員 (必須)	2年次の春学期 (1セメスター)	マレーシア	アジアパシフィック大学
プログラムB			マレーシア	UCSI大学
			ニュージーランド	カンタベリー大学
			アメリカ合衆国	ミシガン州立大学
			カナダ	プリティッシュコロンビア大学 ケイプレントン大学



アジアパシフィック大学



プリティッシュコロンビア大学



ケイプレントン大学



ミシガン州立大学

国際学部短期留学

この制度は、文教大学が本学の正課教育の一環として協定を結んでいる海外の大学、オーストラリアのモナシュ大学、アメリカ合衆国のオレゴン州立大学、タイのプリンスオブソククラ大学において、1セメスターの間(約3ヵ月間)現地での勉強を通じて、英語運用能力向上と異文化コミュニケーション能力の養成、異文化理解および国際関係への認識を深めることを目的とした国際学部の留学制度です。

※留学先で修得した単位は、文教大学の単位として認定されます。

【参加対象】 国際学部在学学生

【実施】 2年次の春学期

【参加条件】 1年次での単位修得状況や、指定された科目の履修および修得、事前指導への参加等が必要です。

短期留学参加者 (2017年度)	
● オレゴン州立大学(アメリカ合衆国)	19名
● モナシュ大学(オーストラリア)	23名
● プリンスオブソククラ大学(タイ)	9名

充実したアメリカ生活

2016年度 オレゴン州立大学短期留学生
国際学部 柳田 拓海さん

私はもともと英語が得意な方ではなく、クラスレベルも低めだったので、留学に参加することを決めた当時はアメリカでうまくやれているか不安でした。しかし実際に行ってみると、周りの方のサポートもあり無事充実した日々を送ることが出来ました。これから留学を考えている方はそこまで心配する必要はありません。現地にはサポーターやアドバイザーもいますので安心して下さい。私からのアドバイスですが、留学前に英語を少しでもいいので勉強しておく、留学生活のスタートが楽になります!



フィールドワーク(左上が柳田さん)

日本語から離れて、海外で暮らすということ

2016年度 モナシュ大学短期留学生
国際学部 山口 ひかりさん

メルボルンでの生活は、異文化を実感し、様々な多国籍の方たちと関わるとてもいい機会でした。日本語を使えない生活に初めは緊張ばかりでしたが、いつの間にか違和感のない当たり前の生活となっていました。楽しいことだけではなく、うまく英語を使えないという悔しさも何度も経験しましたが、失敗しても自分から行動することが後悔のない3か月を作ってくれたいと思います。したいことは全部挑戦するという気持ちで、勉強も遊びもホームステイも全力で過ごすことをおすすめします!



クラスメイトと(前列中央が山口さん)

微笑みの国タイでの体験

2016年度 プリンスオブソククラ大学短期留学生
国際学部 若松 遥香さん

私は2016年の2月にタイ、プリンスオブソククラ大学(PSU)への留学を経験してきました。PSUでは英語で、観光やタイについて学びます。英語を基にして新しい言語にチャレンジし、観光学を学ぶ、観光学科の人にはびったりの授業を受けることができます。休日には様々なフィールドトリップがあり、タイの自然、観光、文化を直接体験します。日本ではなかなか見ることができない透明な青い海、マングローブの森も魅力的です。皆さんを迎えてくれるタイの人々はとても優しい人ばかりです。ぜひPSUへの留学に参加し、たくさんの素晴らしい体験をしてください。



フィールドトリップでタイ文化を学ぶ(右から3人目が若松さん)

国際学部短期留学 留学先別参加者延べ数				
実施年数	モナシュ大学	オレゴン州立大学	プリンスオブソククラ大学	延べ数
16年間	626	522	58	1206

※平成13年度から開始し、平成28年度の16年間で、延べ1206名が参加しています。

言語文化研究科 (博士課程) 東アジア地域グローバル人材育成プログラム

この海外研修プログラムは、大学院言語文化研究科と北京外国語大学日語系との教育連携による人材育成プログラムです。

博士後期課程2年次以上が参加条件、研修期間は2週間以上6ヶ月以内。

参加者は北京外国語大学を拠点に博士論文を作成するための資料等の実地調査および教育理論の実践・検証等の研究活動を行うことができます。

2017年度 海外研修プログラム一覧

クローズドプログラム【越谷校舎】

主管部署	研修名	研修目的	研修先(国名・機関)
教育学部	第28回 アメリカ学校教育研修	1.アメリカの学校教育・教育制度等に関する理解を、実地見学・体験学習を通して深める。 2.現地の小・中学校で日本の文化や社会、日本語等に関して英語で教育実習を行い、その準備・実施を通して、日本の教育や言語・文化などに対する知見を深める。 3.ホームステイや交流を通じてアメリカの文化・生活を体験し、国際的なコミュニケーション力を高める。	アメリカ合衆国 メリーランド州チャールズ郡 チャールズ郡教育委員会
人間科学部	第13回 海外人間科学北政研修 (スカンジナビア流スローライフ)	北欧の文化や教育・福祉・心理のあり方について実地を視察して理解を深め、日本について比較の視点から人間科学的に探求するための手がかりをつくる。	フィンランド、スウェーデン 各種学校、福祉施設、NPO、 行政機関ほか
文学部 日本語教育 研究室	第27回 中国日本語教育研修	1.異文化の中で日本語教育体験を持つ。 2.国際交流を体験する。同世代の中国の大学生との交流を図る。 3.異文化体験を通じて中国文化を知り、視野を広げる。 4.中国の日本語教育事情を知る。	中国・河北省秦皇島市 東北大学秦皇島分校語言学院
	第14回 シドニー大学 日本語教育研修	1.英語母語話者(大学レベル)に対する日本語教育実習 2.オーストラリアの日本語教育事情を知る。 3.現地の同世代との交流、および異文化体験をする。	オーストラリア・シドニー シドニー大学
文学部 英米語 英米文学科	第28回 イギリス語学・文化研修	英国ロンドンでの語学研修を通し、異文化体験を踏ませ、英語力の向上に資する。	英国・ロンドン Frances King School of English
	第3回 アメリカ・コンコーディア大学 短期留学プログラム	米国社会での生活体験と協定校大学における集中英語授業および正規授業の聴講を通じて、高い語学力、幅広い視野、柔軟な思考を身につける。米国文化への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結びつけることを目的とする。	アメリカ合衆国 オレゴン州ポートランド コンコーディア大学
	第1回 アメリカ・コンコーディア大学 教員養成プログラム	研修の目的は、英語教員を目指している学生の英語運用能力を伸ばすと共に応用言語学の理論の知識を深め、英語を教える技術を身につけさせることである。	アメリカ合衆国 オレゴン州ポートランド コンコーディア大学
	第2回 マギル大学 英語・文化集中プログラム	英語・文化集中プログラムへの参加を通じて、生活するために必要な言語スキルや文化を習得する。また、カナダとケベックの文化と歴史を学び、幅広い視野、柔軟な思考を身につける。海外への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結び付けることを目的とする。	カナダ ケベック州 モントリオール マギル大学
	第2回 マギル大学 夏期イマージョン・プログラム	集中英語授業を通じて高い語学力、幅広い視野、柔軟な思考を身につける。放課後のプログラムに参加しながらカナダとケベックの文化と歴史を学ぶ。海外への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結び付けることを目的とする。	カナダ ケベック州 モントリオール マギル大学
	第2回 マギル大学 春期イマージョン・プログラム	集中英語授業を通じて高い語学力、幅広い視野、柔軟な思考を身につける。放課後のプログラムに参加しながらカナダとケベックの文化と歴史を学ぶ。海外への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結び付けることを目的とする。	カナダ ケベック州 モントリオール マギル大学
	第1回 マルタ夏期英語研修	英語のコミュニケーション力を伸ばすと同時に、語学の効率的な勉強方法を学ぶ。海外文化(特にヨーロッパ文化・歴史)への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結び付けることを目的とする。	マルタ共和国・マルタ島 サン・ジュリアン English Language Centre (EC) マルタ校
	第2回 マルタ春期英語研修	英語のコミュニケーション力を伸ばすと同時に、語学の効率的な勉強方法を学ぶ。海外文化(特にヨーロッパ文化・歴史)への関心を高め、長期留学へと繋げるなど、さらに学ぶ意欲に結び付けることを目的とする。	マルタ共和国・マルタ島 サン・ジュリアン English Language Centre (EC) マルタ校
文学部 中国語 中国文学科	第9回 中国短期語学・文化研修	中国語の運用能力向上と中国の歴史、文化に対する理解を深める。	中国・北京市 北京外国語大学

■オープンプログラム：国際交流センターが企画し、全学部の学生(一部を除く)を対象としたプログラムです。
■クローズドプログラム：学部が企画し、学部・コース別等の学生を対象としたプログラムです。

研修期日・期間	参加資格	単位認定	参加目標人数	実施最低・ 最高催行数	参加費用	引率
2018.2月中旬 ～3月上旬 (約2週間)	教育学部1～4年生 定員に余裕がある場合、 他学部の教職科目履修者	教育学部 学部共通科目 「海外教育研修」〈1単位〉※1	30名	最低15名 最高30名	約39万円	有
2018.2月中旬 ～2月下旬 (約2週間)	人間科学部 2年生以上	人間科学部 学部専門選択科目 「海外人間科学研修」〈2単位〉※1	約30名	最低15名 最高34名	約37万円	有
2018.2月下旬 ～3月中旬 (約3週間)	文学部3年生以上 (日本語教員養成コース履修者)、 言語文化研究科大学院生	文学部 学部共通科目 「日本語教育実習II」 〈2単位・3年生のみ〉※1	15名	最低6名 最高16名	約17万円	有
2017.8月下旬 ～9月上旬 (約2週間)	1.「日本語教育実習I」登録者 2.日本語教員養成コース登録者 3.言語文化研究科1・2年生	文学部 学部共通科目 「日本語教育実習I」〈2単位〉※1	約15名	最低6名 最高18名	約39万円	有
2018.2月上旬 ～3月上旬 (約4週間)	文学部に在籍する学生	文学部 学部専門教育科目(学部共通) 「外国語実地演習」〈2単位〉※1	30名	最低15名 最高45名	約40万円	有
2017.8月上旬 ～9月上旬 (約5週間)	文学部に在籍する学生	文学部 学部共通科目 「外国語実地演習」2単位×3 〈6単位〉※1	15名	最低10名 最高30名	約67万円	無
2018.2月中旬 ～3月中旬 (約4週間)	1.文学部英米語英米文学科に 在籍する学生 2.言語文化研究科大学院生	文学部 学部共通科目 「外国語実地演習」〈4単位〉※1	15名	最低10名 最高30名	約52万円	無
2018.3月上旬 ～4月中旬 (約6週間)	文学部1～3年生	文学部 学部共通科目 「外国語実地演習」2単位×3 〈6単位〉※1	10名	最低1名 最高60名	約58万円	無
2017.8月上旬 ～8月下旬 (約3週間)	文学部に在籍する学生	文学部 学部共通科目 「外国語実地演習」〈2単位〉※1	10名	最低1名 最高60名	約64万円	無
2018.2月下旬 ～3月下旬 (約4週間)	文学部に在籍する学生	文学部 学部共通科目 「外国語実地演習」2単位×2 〈4単位〉※1	10名	最低1名 最高60名	約48万円	無
2017.8月上旬 ～8月下旬 (約3週間)	文学部に在籍する学生	文学部 学部共通科目 「外国語実地演習」〈2単位〉※1	10名	最低1名 最高30名	約48万円	無
2018.2月下旬 ～3月中旬 (約3週間)	文学部に在籍する学生	文学部 学部共通科目 「外国語実地演習」〈2単位〉※1	10名	最低1名 最高30名	約33万円	無
2018.2月中旬 ～3月上旬 (約2週間)	文学部に在籍する学生 (中国語履修者)	文学部 学部専門教育科目(学部共通) 「外国語実地演習」〈2単位〉※1	30名	最低10名 最高35名	約26万円	有

注)この海外研修企画には、一部未確定部分があり、場合によっては変更することもあります。
※1 単位認定は、研修実施の次のセメスターに行う。

2017年度 海外研修プログラム一覧

クローズドプログラム【湘南校舎】

主管部署	研修名	研修目的	研修先(国名・機関)
情報学部	第8回 ベトナム文化・産業体験研修	日本の産業界にとって優良かつ有望なマーケットであると同時に、製造業、情報サービス産業、観光業等多くの産業にとって、重要なビジネス・パートナーとなりつつある「ベトナムの土地と文化と産業」を学習し、人間力を高める学習を行うことを目的とする。	ベトナム社会主義共和国 ハノイ/ダナン FPT大学
	第6回 モンゴル異文化理解・共生体験研修	先進国を超える高い大学進学率による高度教育を実現し、日本の産業界との連携を強く期待するモンゴルは、我が国の優良かつ重要なビジネス・パートナー候補の1つである。アジアと欧州を繋ぐ要所にあり、溢れる大自然と近代化の間で生きる人達の生活に密着し、近くて遠い国「モンゴルの異文化を理解する中で国際共生力を高める」体験的学習を通して、21世紀高度職業人に求められる国際力の養成を目的とする。	モンゴル ウランバートル モンゴル国立科学技術大学
国際学部	第13回 ホスピタリティ・マネジメント研修	1.国際ホスピタリティ・マネジメントに関する基本的知識の習得を目指す。 2.ホスピタリティ産業の現場に触れる。	マレーシア・アロースター/ クアラルンプール/ ランカウイ/ペナンなど ウタラ大学
	第10回 リゾート・マネジメント研修	1.国際リゾート・マネジメントに関する基本的知識および技能の習得。 2.国際リゾート・マネジメントの実務現場を体験する。	アメリカ合衆国 ハワイ州 ハワイ大学マノア校
	第3回 英国カルチュラル・ツーリズム&英語研修	国や地域の文化を観光資源として活用する「文化観光(Cultural Tourism)」について学びながら、同時に英語力を高めることを目的として、英国サリー大学で研修を行う。	イギリス ギルフォード サリー大学
	第7回 ニューヨーク国連研修	ニューヨークにある国連本部において、世界の諸問題の解決に向けて第一線で仕事をしている多国籍の国連職員から話を聞き、国連施設の見学や会議の傍聴を通して国連の活動と世界の問題を理解し、また、ロイター、JETRO等での企業研修や国連国際学校(UNIS)、コロンビア大学での教育施設と交流を通して、より国際的な視野を深めることを研修目的とする。	アメリカ合衆国 ニューヨーク ニューヨーク国連本部
経営学部	第2回 北米地域 (ニューヨーク)研修	1.著名な企業を訪問し、多国籍企業のマネジメントに関する基本的知識の習得を行う。 2.日系企業、日本政府機関を訪問し、海外での事業運営に関する知識を習得する。 3.著名大学を訪問し、米国経済や金融に関するレクチャーを受ける。	アメリカ合衆国 ニューヨーク州 ニュージャージー州
	第1回 韓国経済・社会・文化体験研修	韓国の社会や文化を体験し、企業や商業活動の現場を見学することによって、韓国や韓国人を幅広くなおかつ深く理解するとともに、今後学生達に求められる経営者のグローバル適応力を養成することを、その目的とする。	韓国・ソウル 製造業・流通業・歴史・文化施設など

オープンプログラム【越谷校舎・湘南校舎共通】

主管部署	研修名	研修目的	研修先(国名・機関)
国際交流センター	第22回 アジア研修	アジアの開発途上地域の社会や経済の実相に触れ、現地の人々とのつながり、関わりを考える。以下のキーワードについて体験を通じて参加者相互が学び合い、考察を深める。 (社会開発と教育、第三世界民衆の自立努力、アジアの多様な文化と言語、情報化社会、世界観の再考と視野の拡大、グローバル市民、食文化と人間)	バングラデシュ、マレーシア (一部、タイ、シンガポールへの変更もあり得る) ※フライトルートによりバンコク、シンガポールを経由する場合がある。
	第13回 モナシュ大学 春期集中英語研修	英語の研修、ならびに、オーストラリアの文化、生活に関する学びをホームステイ体験を通じて習得。	オーストラリア ビクトリア州 メルボルン市 モナシュ大学 シティキャンパス

■オープンプログラム：国際交流センターが企画し、全学部の学生(一部を除く)を対象としたプログラムです。 ■クローズドプログラム：学部が企画し、学部・コース別等の学生を対象にしたプログラムです。

研修期日・期間	参加資格	単位認定	参加目標人数	実施最低・最高催行数	参加費用	引率者
2018.2月~3月 (約8日間)	情報学部生 (他学部・情報学研究科の学生の参加も認める。)	2014年度以降入学者：「海外研修A」または「海外研修B」(2単位)(情報学部以外の学部から参加する学生は、情報システム学科専門科目「海外研修A」または「海外研修B」の他学部履修となる。) 2012年度~2013年度入学者：「海外研修」(2単位) (情報学部以外の学部から参加する学生は、情報システム学科専門科目「海外研修」の他学部履修となる。)*1	15名	最低9名 最高20名	約15 ~20万円	有
2017.8月 (約8日間)	情報学部生 (他学部・情報学研究科の学生の参加も認める。)	2012年度以降入学者：「海外研修」(2単位) (情報学部以外の学部から参加する学生は、情報システム学科専門科目「海外研修」の他学部履修となる。)*1	15名	最低9名 最高20名	約15 ~20万円	有
2017.8月~9月 (約8日間)	原則として、「国際理解論」もしくは「国際観光論」、および、言語科目(英語)8単位を修得済の国際学部生	国際学部：2012年度以降入学者：「海外研修C(HM)研修」(2単位) 2011年度以降入学者：「海外研修B(ホスピタリティ・マネジメント)研修」(2単位)*1	15名	最低10名 最高20名	約20 ~30万円	有
2018.2月初旬 ~3月中旬 (約8日間)	原則として、2012年度以降入学者は「国際理解論」もしくは「国際観光論」を履修中もしくは修得済み、および、言語科目(英語)4単位を修得済の国際学部生。2011年度以降入学者は、観光ビジネス領域あるいはホスピタリティ・マネジメント領域にある科目を履修していること、および言語科目(英語)8単位修得済みの国際学部生。	国際学部： 2012年度以降入学者：「海外研修B(RM研修)」(2単位) 2011年度以降入学者：「特殊講義C」(2単位)*1	16名	最低15名 最高18名	約25 ~30万円	有
2017.8月中旬 ~9月上旬 (26泊28日機中1泊)	原則として、「国際理解論」または「国際観光論」を履修中または単位取得済み、かつ言語科目(英語)を4単位以上取得済みの国際学部生。ただし、他学部生の参加も認める。(所属学部に関らず、参加にあたって、①英語による講義を受けるために必要な最低限の英語コミュニケーション能力があること②プログラムへの参加目的がはっきりしていること③湘南校舎で行われる事前・事後研修およびオリエンテーションに参加することを条件とする。	国際学部： 2011年度以前入学者は単位認定無し 2012年度以降入学者：「ESP D・E・F」(いずれか1科目2単位)と、「特殊講義A・J」(いずれか1科目2単位)〈合計4単位〉*1	16名	最低15名 最高17名	約60万円	無
2018.2月下旬 ~3月上旬 (約9日間)	原則として国際学部2年生以上 (ただし、場合によっては他学部生および1年生の参加を認める。)	国際学部： 「特殊講義A」(2単位)*1	15名	最低10名 最高20名	約30万円	有
2018.2月下旬 ~3月上旬 (約9日間)	原則として経営学部学生	経営学部： 海外研修(2単位)*1	20名	最低2名 最高24名	約20 ~30万円	有
2017.9月頃 (1週間程度)	原則として経営学部学生	経営学部： 海外研修(2単位)*1	20名	最低2人 最高32人	約10万円	有

(注)この海外研修企画には、一部未確定部分があり、場合によっては変更することもあります。 *1 単位認定は、研修実施の翌 semester以降に行う。

研修期日・期間	参加資格	単位認定	参加目標人数	実施最低・最高催行数	参加費用	引率者
2017.12月中旬 ~12月下旬 (13日間)	文教大学生 (教育、人間科学、文学、情報、国際、健康栄養、経営)	人間科学部「海外人間科学研修」(2単位) 国際学部「海外研修A(アジア研修)」(2単位) 経営学部「海外研修」(2単位)*1	15名~ 25名	最低15名 最高27名	約30万円	有
2018.2月上旬 ~3月中旬 (約5週間)	文教大学生 (教育、人間科学、文学、情報、国際、健康栄養、経営)で、次のいずれかの語学基準を満たしている者 CASEC:450点以上、IELTS:3.5点以上、TOEFL-IBT:35点以上(TOEFL-PBT:418点以上)、TOEIC:350点以上、英検:3級以上	文学部：学部専門教育科目(学部共通)「外国語実地演習」2単位×2(計4単位) 情報学部：2012年度以降入学者は情報学部外国語科目の英語科目から(計4単位) (ただし、認定できる科目は、英語科目規程の履修順序に従うものとする。) 2007年度~2011年度入学者：外国語科目の選択英語科目から(計4単位) 国際学部：2012年度以降入学者：選択言語科目の英語科目から(計4単位) 2008年度~2011年度入学者「ESPJV」と「ESPJV」 経営学部：経営学部外国語科目の英語科目から(計4単位) (ただし、認定できる科目は、英語科目規程の履修順序に従うものとする。)*1	10名	最低2名 最高15名	約60~ 65万円	無

(注)この海外研修企画には、一部未確定部分があり、場合によっては変更することもあります。 *1 単位認定は、研修実施の翌 semester以降に行う。

海外研修参加者メッセージ

アメリカへ飛び出してみませんか？

2015年度 アメリカ学校教育研修参加者 教育学部 小谷 明日架さん

アメリカでの生活は、一言でいうと夢のような時間でした。英語で授業するという事は、少し不安でしたが、私にとって初めての授業がアメリカでできたということは最大の誇りです。教育現場だけでなくホストファミリーと過ごす素敵な時間や、現地の大学生とお話をする時間など一つ一つが学びでした。日本から飛び出さなければ、気づくことのできない新たな発見もたくさんありました。是非、このプログラムをチャンスだと思って、アメリカへ飛び出してみませんか？



「実習先の中学校で」 右から2番目が小谷さん

様々な経験と刺激的な北欧研修

2015年度 海外人間科学研修参加者 人間科学部 藤井 七海さん

北欧研修では、衣食住様々な場面で日本とは違う文化に触れることができ、普段の何気ないことや、自分の周りで起きていることについて改めて考えるきっかけになりました。特に、人との関わりやコミュニケーションが様々な場面で密に行われていることに感激しました。また、社会問題に立ち向かっている人達の話や聞いたりするので、福祉や教育の道に進む人も将来に生かせることが見つかると思います。このような機会は、なかなかないと思うのでぜひ積極的に参加してほしいです！



「日本語を学ぶ大学生との交流」

刺激を受けたその先には

2014年度 北京大学日本語教育研修(現 中国日本語教育研修)参加者 文学部 大越 真帆さん

私はこの研修で日本語を教えることを通じて、人と関係を築き上げる喜びと成長できた実感を得ることができました。2週間にわたり北京大学で教壇実習を行いました。この研修で本当にたくさんの刺激を受けました。何よりも学生たちが熱心に勉強していたことに刺激を受け、私も学生たちの頑張りに応えたい一心で授業をしました。こうして学生の頑張りに応えることで、研修がより充実したものとなりました。まさに切磋琢磨しあえたのではないかと思います。大変貴重な経験になると思うのでみなさんもぜひ参加してみてください。



「最後の授業後に学生と」

自分と世界を広げるチャレンジ

2016年度 シドニー大学日本語教育研修参加者 文学部 岩崎 みなみさん

あなたは海外で日本語を教えたことがありますか？私はありませんでした。シドニー実習は本当にチャレンジの連続です。楽しいことも難しいこともありましたが、シドニーで出会った家族や友達、先生方と一緒に実習した仲間、先生として日本語を教えた50分間は私の財産です。そして世界は広いということの底から知ることができます。英語での生活が不安でも大丈夫です！なんとかなります。もし迷っているなら挑戦してください！間違いなく大学生活で一番濃密な2週間になるでしょう。



「farewell partyでの集合写真」

International Exchange Programs

人の温かさを感じたロンドン研修

2015年度 イギリス語学・文化研修参加者 文学部 加藤 万莉菜さん

私はこの研修が初めての海外で、驚く毎日の中で人の温かさに触れることができました。レストランで料理を食べ終わったときにウェイターが「味はどうだった？おいしかった？」と話しかけてくれ、学校では様々な国の人と話し、ホストファミリーとは毎日家に帰ると「学校どうだった？」と声をかけてくれロンドンの観光地や将来の夢についても一緒に話しました。研修を通して改めてコミュニケーションの大切さに気付きました。拙い英語でもぜひ初日から勇気を振り絞って話しかけ素晴らしい研修にしてください。



「研修参加者とともに」

短期留学プログラムを終えて

2016年度 コンコーディア大学短期留学プログラム参加者 文学部 高橋 陸生さん

大学生活という四年間は、自分の中の何かを変えるには絶好の期間だと私は思います。私が留学を決めた理由は、もちろん語学力の向上もありますが、一番は自分の中の視野を広げ、行動力のある人間になりたかったからです。実際に研修を始めると、いかに自分が小さい世界、考え方にとらわれていたかが分かりました。わからないことだらけの生活で一番大事だったことは、Don't be shy. Be active. 自ら行動し、発信する力。1か月なんて短すぎる。確かにそうです。しかしそれ以上の価値を私はこの留学で得ることができたと思います。



「farewell partyでの集合写真」

マルタでの貴重な体験

2016年度 マルタ夏期英語研修参加者 文学部 佐々木 清音さん

私は、特別英語ができるわけではありませんでした。なので、英語ですべての授業を受けるのも、日常会話をすべて英語でこなすのもとても大変でした。しかし、それと同時にとても貴重な体験でした。マルタはとても良いところで、町の人や学校の先生も良い人ばかりでした。学校には意外と日本人の人もたくさんいるので、お互いに励まし合ったりしました。授業だけでなく、アクティビティも通しているような文化や人々に触れることができます。今しかできない体験です。少しでも興味があったら、是非行ってみてください。



「ゴゾ島へのツアーにて」

The first time abroad, Montreal!

2015年度 マギル大学春期イマージョン・プログラム参加者 文学部 坂本 龍太さん

参加して、楽しかった！興奮した！学んだ！これが私の心の声です。初めての海外ということもあり、出国前は準備に手間取ったり、無事にやっつけられるか不安でした。実際、初日から予想外のことも起きて思いましたよ“What a day!”って。みなさんも同じような不安を持っているかと思いますが、でも、困るからこそ対処しようとして真剣に考え、行動を起こし結果として様々なものを得られます。特に異なる文化を体験することはあなたにとって大きな強みとなります。Montrealは治安も雰囲気もいいところです。新たな世界に飛び込んでください。



「グループでの集合写真」 前列左が坂本さん

素敵な出会い

2015年度 中国短期語学・文化研修参加者 文学部 門 由花さん

私は中国短期語学・文化研修に参加して、語学の勉強だけではなく、出会った人たちと共に中国の文化にも触れて楽しむことができ、とても貴重な経験ができました。学校やお店など様々な場所でたくさんの素敵な出会いがありました。自分が学んでいる国の人たちと出会い、関わることは、とても楽しく幸せなことだと思います。また、この充実した16日間は、私の中国への興味と中国語学の意欲を高めてくれました。必ず今までに無い素敵な体験ができると思います。そして必ず自分のプラスになるはずですよ。ぜひ参加してみてください！



「クラスメイトと天安門広場にて」

海外研修参加者メッセージ

「生きる」を感じる

2014年度 アジア研修参加者 教育学部 濱崎 ひかるさん

鳴り響くクラクションの音、ダッカのパワー、物乞いの子ども、村の元気な女性たち、満点の星空、人懐っこい笑顔、独立の歴史、全部が驚きで、いまでも鮮明に思い出することができます。「自分の目で見て、感じる」これがいかに重要で、自らの価値観に働きかけるのかということを実感しました。もっと世界を見てみたい!という思いが強くなり、新たな夢もできました。また、参加した仲間は、互いを高め合える大切な存在です。この13日間は私にとって最高の財産になりました!みなさんも、ぜひアジアを肌で感じてきてください!



「バングラデシュの子供たちと」中央が濱崎さん

人々の温かさと英語の楽しさを実感

2015年度 モナシュ大学春期集中英語研修参加者 国際学部 石井 里奈さん

今回の研修は私にとって初めての語学研修であり、初めてのホームステイを経験できた研修でした。現地に行く前は不安でいっぱいでした。また研修が始まってからも最初のうちはホストファミリーと上手に会話が出来ずに焦っていました。しかしオーストラリアの人たちは上手に英語が喋れない私に対して丁寧に接してくれました。また、現地には移民の人が多く、様々な人種の人々と関わることができました。人々の温かさと英語を使う楽しさを実感することのできた研修となりました。



「クラスメイトと」前列左が石井さん

旅行とは違う楽しみ方

2015年度 ベトナム文化・産業体験研修参加者 情報学部 牧瀬 諒さん

日本人旅行者が増えているベトナム。そんなベトナムに旅行ではなく研修として参加してみませんか?私はベトナム研修に参加して、旅行ではできないような経験をたくさんしました。例えばFPT大学の学生との交流です。一緒に観光地をまわり移動中にベトナム語を覚えてもらったり、日本文化の発表をしたりしました。FPT大学の学生は英語を話せる上に日本語を学んでいるので、簡単に交流をする事が出来ました。ベトナムという環境やベトナム人学生との交流は刺激を受けることが多くとても楽しく、また考えさせられることもありました。



「研修に参加した仲間たちと」左が牧瀬さん

イメージとのギャップが凄い!

2016年度 モンゴル異文化理解・共生体験研修参加者 情報学部 鈴木 萌々香さん

旅行の行き先を決める時、「モンゴルに行く」とは、なかなかならないと思います。初めての海外でも、あえて「モンゴル」を選ぶことをオススメします。草原のイメージがとても強いと思いますが、高いビルも遊園地もあります。けれど都心から少し離れれば、日本では味わうことのできない素晴らしい景色が広がっています。これは、写真だけで満足してはもったいない景色だと私は思います。現地の学生は日本語が上手ですぐに仲良くなれて、7日間の研修は素晴らしいものとなりました。



「モンゴルの民族衣装を着て」右が鈴木さん

体感したすべてが財産に

2015年度 ホスピタリティ・マネジメント研修参加者 国際学部 鈴木 将成さん

マレーシアの素晴らしいところを肌で体感した毎日でした。想像を絶するほど壮大な自然。見たことのない生き物。様々な文化が混じったマレーシアフード。ナイトプールから見渡すクアラランプールの夜景。滞在中にいくつか訪れる5つ星ホテルは、大富豪やハネムーンでカップル達が訪れるような夢のような場所ばかりです。自分の五感で感じたすべてが、最高の学びになりました。大学の研修だからこそ、体験できるのだと思います。本当に1秒1秒が惜しいほど、充実した研修になりました。ぜひ行って体感してください!



「クアラ大学のモスク前で」右から2番目が鈴木さん

アロハを体感できる1週間

2015年度 リゾート・マネジメント研修参加者 国際学部 軽部 さやのさん

当研修は、9割の人がリピーターになると言われているリゾート地ハワイで、1週間観光マネジメントについて学ぶ研修です。ハワイ大学でウェディングや対人サービス、ハワイにおけるホスピタリティなどを学んだり、観光施設や有名ホテルの見学をしたり、ハワイの空気に触れながら、現地のホスピタリティを体感することができます。また、学びだけでなく、豊かな自然やきれいな景色で心も癒される、充実したプログラムとなっています。少しでも興味のある方は、ぜひ参加してみてください。



「修了証を手にして」前列中央が軽部さん

充実の1か月

2016年度 英国カルチュラル・ツーリズム&英語研修参加者 国際学部 太田 夏美さん

この研修では、英国の文化や観光について学ぶことができます。短い期間なので悔いの残らないように色々なことに進んで挑戦することで、私自身も成長できたように感じます。最初の頃は先生の言葉すら聞き取れず、会話もほとんどできずにいました。しかし、慣れてくると自分の意見が言えるようになりました。また、寮での生活やホストファミリーと1日過ごしたこともとても貴重な経験になりました。英国が好きな人や英語の力を伸ばしたい人はもちろん、自分を変えたい人に参加をお勧めします!



「サリー大学のモニュメントの前で」

グローバルを9日間で体験できる研修

2015年度 ニューヨーク国連研修参加者 国際学部 山本 遼さん

ニューヨークは様々な国の人が集まる都市なので、多種多様な人々や文化と関わることができます。ニューヨークという都市で9日間学び生活することにより、自分が当たり前と思っていたものと異なる価値観を肌で感じる事ができました。国連研修といっても国連以外の分野も学ぶことができるので、自分の視野が広がったと感じています。英語力が上達することはもちろんですが、この研修ではグローバル社会の最前線を学ぶことができると思います。



「国際連合総会会議場で」後列右から3人目が山本さん

期待以上の研修

2015年度北米地域(ニューヨーク)研修パイロットプログラム参加者 経営学部 駒場 大輝さん

今回この研修に参加してみて私は多くのことを学んだ。最初、私は参加を迷っていたが、今思えば参加してよかったと強く思っている。研修ではニューヨークにある企業へ実際に訪問することで、日本と異なる文化や習慣を肌で感じる事ができた。また、研修では新しい仲間と出会うことができた。今回の研修を通して私が伝えたいことは自分がやってみようと思うことは恐れずに「挑戦」することである。何事にも勇気を持ってどんどん挑戦して行って欲しいと思う。



「コロンビア大学で」

日本を出るとのこと

2016年度 韓国経済・社会・文化体験研修パイロットプログラム参加者 経営学部 吉野 翔太さん

韓国に行くと良かったと思う事は韓国での体験や文化や伝統に直接触れることによって日本との違いが身をもって経験できた事です。現地に行かないと分からない感覚を体感できました。もうひとつは、コミュニケーションは言語ではなく、相手に伝えたいと思う気持ちが重要であるという点です。言葉が通じなくてもその気持ちがあれば何とかできます。リスクを恐れず、思い切って海外に行ってみようのも大事なのではないでしょうか。



「韓国文化を学ぶ」右から3人目が吉野さん

越谷キャンパスの国際交流



国際交流フェア



両校舎では例年国際交流フェアを開催し、海外留学や海外研修プログラムの紹介や体験談報告などを行っています。学生の皆さんの国際交流への興味関心を高め、また、留学生との交流が活発になるような企画を検討しています。



外国人留学生別科

外国人留学生別科とは、日本の大学等への進学を目指す留学生のための1年間の日本語教育課程で、越谷校舎の10号館に所在しています。中国からの留学生が多いのですが、近年、東南アジアからの留学生も加わり、休み時間になると様々な言語が飛び交う国際色豊かな光景が繰り広げられています。

新入生歓迎スポーツ大会などの学校行事にも参加することができるので、学部留学生や日本人学生とも交流できます。また、夏には浴衣を着て花火大会に行ったり、冬には餅つき大会、茶道、着物の着付け体験など日本文化に触れる機会を設けています。授業では、日本語を学ぶ科目だけではなく、受験に必要な様々な科目を勉強しています。各学期の授業終了時には、日々の日本語学習の集大成として、日本語での劇を披露したり、パワーポイント等を使用して学習発表会を行っています。このように本学で1年間学習し、それぞれの進路に進みます。別科の留学生と交流したい方は、ぜひ10号館の外国人留学生別科にお立ち寄りください。



交換留学生ウェルカムランチ

文学部では、毎年4月と9月に海外協定校交換留学生の歓迎会「ウェルカムランチ」を行っています。このイベントは文学部長が主催しており、交換留学生、教職員それぞれが自己紹介を行い、交流を深めています。



韓国日本語学研修

本研修は2016年度で11回目になる短期(約2週間)の研修プログラムです。毎年6月下旬から7月上旬の2週間、韓国極東大学の学生が日本に滞在し、本学学生と交流を行います。2016年度は授業終了後に100名ほどの学生、教職員が集まり、盛大に交流会が行われました。

実習を超えて、大切なものに気づく

文学部 五島 佑介さん

この研修は、日本語教員養成プログラムの一環として行われます。日本語教育の授業を実際に行うので、計画/準備はとても忙しく大変なものでした。その中でも、先生方の指導を受け、仲間たちと協力することで日本語教員としての成長を確かに感じることができました。また、異文化交流として、とても貴重な経験をすることができました。韓国極東大学の学生に「教える」だけでなく「教わる」こともとても多かったです。日本語教育の集大成として、異文化交流の第一歩として、すばらしい体験ができました。



アクティビティの様子

留学生向けチューター制度の実施

私費外国人留学生向けにチューター制度があります。チューター制度では、日本人学生が留学生の生活支援、授業補助、定期的な座談会で情報交換をするなど、留学生への支援を行っています。

湘南キャンパスの国際交流

留学生向けチューター制度の実施

湘南校舎では、日本人学生が留学生のチューターとなって、留学生の文教大学での学習や学生生活等全般にわたりアドバイスをし、話し合いながら、留学生が環境に適応できるよう手助けするための制度があります。また、湘南校舎留学生委員会が春に企画する「留学生の集い」でもチューターと留学生及び教職員の交流を深めています。



学生生活はやっぱり楽しんで行こう

2016年度新入生
国際学部 LUO DINGWENさん

文教大学にはチューター制度があります。チューター制度では、留学生と日本人学生が1人ずつペアになって、1対1で活動を行います。初めてチューターと話すときはとても緊張しましたが、今では授業や課題について相談にのってもらったり、論文の書き方を教えてもらったりするだけでなく、一緒にごはんを食べたり、遊びにいらつたりすることもあります。この活動を通じて、日本語や文化の違いについてたくさん学ぶことができました。これからも楽しい学生生活が送れそうです。

新たな出会いと気づきがあったチューター

2015年度秋学期チューター
国際学部 糸川 真由さん

国際学部に入学したのでは非留学生と交流したいと思い、チューターになろうと思いました。私が担当したのは同じ国際学部所属の女子学生です。彼女と週に1回会う時間をつくり、日本での生活、食べ物、名字等の話をしました。書くことが難しいらしく、一緒に漢字の勉強もしました。レポートの添削では思わぬところに日本語のミスがあることに気づきました。チューターの活動は私に新たな視点と当たり前の環境を見直すきっかけをくれました。活動は半年でしたが、今でも話をしたり、連絡を取ったりしています。

留学生研修旅行

湘南校舎留学生委員会では、毎年秋ごろ留学生、日本人学生、教職員の交流を深め、親睦できる場として留学生研修旅行を実施しています。こうした機会での対話や交流を通じて、正課外での文化交流をはかっています。

【実施時期】10月頃

【過去の研修先】2016年度：東京の下町を巡る旅(旧三河島汚水処理場ポンプ場施設見学&江戸東京博物館見学)



自然との調和、耳にささやく江戸の風

情報学部 WANG CHONGKEさん

2016年度の留学生研修旅行では、旧三河島汚水処理場ポンプ場施設と江戸東京博物館を見学しました。日本の重要文化財に指定されている旧三河島汚水処理場は、美しい赤レンガの建物です。ここでは私たちが流した水がどのように処理されて川に戻されるのかを学び、水資源に対する理解を深めることができました。江戸東京博物館では、模型を見ながら江戸時代の歴史をわかりやすく学ぶことができました。日本の文化と歴史に触れる貴重な体験が生まれました。



水道管の内部を見学(右がオウさん)



ベトナムFPT大学・モンゴル国立科学技術大学から学生招聘

毎年秋の約2週間、情報学部による招聘事業の一環として、ベトナムFPT大学とモンゴル国立科学技術大学の学生が本学を訪問します。訪問中は、授業や学園祭に参加して交流を深めています。



学園祭での文化交流



フランスの大学生来校

毎年、母国で日本語を勉強しているフランスの大学生が日本を訪れ、茅ヶ崎市内でホームステイをしながら日本での生活を体験します。文教大学では、毎回学生が主体となって日本文化を学ぶプログラムを企画し、お互いの共通語として英語を用いて交流をしています。毎年7月に行われるこの交流会も今年で19回目を迎えます。過去には「ジャパニーズ・ブチ・運動会」と称してパン食い競争や豆移し競争を行ったり、iPadを使ったクイズ大会や異文化理解ディスカッション、日本の祭りや伝統的な遊びといった日本文化の紹介や体験を行いました。



豆移しに苦戦している様子

海外協定校交換留学生の受入れ

文教大学では、海外協定校から交換留学生の受入れを行っています。越谷校舎では、中国、韓国、ドイツ、ニュージーランドから、湘南校舎では、ベトナムからの交換留学生が学んでいます。文教大学国際交流センターでは、奨学金・宿泊施設の支援・修学支援を行っています。

海外協定校交換留学生からのメッセージ



北京外国語大学
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Sun Mojun
ソン・ボククン さん

人生はアスファルトの道だ。私達はいろんなところに行って、自分の道がずらりと並んだ雑木林の花びらに覆われているような色に染まっていた。文教は私にとって満開の桜だ。この半年を振り返って見ると、楽しく忘れられない記憶しか残っていなかった。留学生として、ここで語学勉強を大いに習得した。先生達、交換留学生の先輩達そして日本人の友達のおかげで、語学だけでなく日本の文化や各国の文化の見聞も広めた。勉強はもとより、国際交流も留学生生活の重要な一部である。文教で茶道部に参加して、わっちでも活動していて、みんなとの人間関係が深まった。大変充実して尊い人生の記録を作った。しかし時は去り易い。将来、対外中国語の教師になりたいので、これから時間を惜しんで韓日英の3ヶ国語を勉強し、中韓日英の4ヶ国語の文化、特に文学を学んで、自分のなりたい自分になるように頑張りたいと思う。



北京外国語大学
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Pan Yurong
ハン・ウヨウ さん

9月から日本に来て、かれこれ4ヶ月になった。まるで夢のような4ヶ月である。中学校からずっと行きたい国に来て、旅行ではなく、暮らしにきたことは今でも信じられないほど楽しい。文教の指定寮は暮らしやすいし、先生たちも優しいし、とてもいい一年が過ごせるに違いない。文教で自分の興味がある授業が自由に選べる。いろいろな分野にわたる授業がある。そしてただ一年の交換留学としては、語学力の向上が一番の目的である。それに対して、多言語教室の各国の友達と話し合っ語学力が進歩していると同時に、各国特有の文化を理解してくる。春学期には、学校前の桜並木を楽しみながら思いっきり友達と遊ぶ。充実した一年を目指し、卒論を準備しながら、文教で面白い授業をとろう。



北京師範大学珠海分校
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Song Ting
ソウ・テイ さん

日本に来る前は、日本に留学するのはいったい何のためなのかと悩んだのですが、今の自分に聞いてもまだわかりません。しかし、本当の日本語をたくさん読めるのは幸いです。中国で習う日本語は、中国人の考え方で出来た文の方が多く、本当の日本を理解するのに日本人の言葉遣いはとても大切なことです。そして日本の社会で身の回りにいる人も、中国人と日本人の考え方の違いや、国の経済の発展など、たくさん教えてくれます。そしてなぜ留学することがいいことに思われるのかが分かりました。留学して何ヶ月も全く違う社会で生活することができるのは、大学での授業があるからです。これから卒論の準備を始め、日本にいる時間を大切にたくさんものものを日々生活から学んでいきたいと思っています。



北京師範大学珠海分校
文教大学文学部
日本語日文学科所属
He Xiaoting
カ・ギョティ さん

日本に来るのが初めてだったので、何を見ても新鮮な感じが。今まで日本のイメージはドラマやテレビ番組などを通じて見ていました。初めて自分自身で直接感じる事が出来て本当にうれしいです。もちろんテレビと同じ部分もありますが、やはり自分が体験することが一番印象に残ると思います。文教大学に来てから、日本人だけではなく、色々な国が異なる人たちとコミュニケーションをしています。自分の日本語もどんどん上手になります。最初は照れて隣で静かにしていましたが、勇気を出して自己紹介をして、ほかの人との交流を始めることができ、達成感を得ています。これから学びたいことですが、将来日本で働きたいので、会社との関連がある知識を学びたいです。ビジネスとか通訳などの分野を勉強したいと思います。



韓国誠信女子大学校
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Lee Eunjung
イ・ウンジョン さん

私は昔から日本文化が好きで、いろいろな日本文化コンテンツを楽しむことを趣味としていました。大概の趣味が日本文化と関わっているのに日本語ができないことに懐疑を感じました。去年の夏の日本旅行を通じて日本語を勉強したい気持ちが強くなり、やはり自分が好きな勉強をするべきだと思い、日本語の勉強を始めました。日本で、また文教大学では日本人の友達と付き合いながら、日本の現代の文化について学びたいと思います。現代の文化以外にも日本の伝統文化についても学びたいと思います。特に今は日本の伝統文化の中でも落語などの文化を経験したいと思います。また日本の神社などの伝統建築物にも興味があるので、もっと学びたいと思います。



韓国誠信女子大学校
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Kim Sunmin
キム・ソンミン さん

交換留学生として日本に行って、今まで簡単に接することができなかった日本の文化、そして日本の大学に通いながら韓国で眺める日本文学だけではなく、日本で眺める日本の文学について学び、それらがどのように違うのかを自分で考えて、世界をより広い視線で見たいと思っています。文教大学では、別科の授業を通じて日本語能力を増進させ、文化の授業を通じては日本固有の伝統文化を皮切りに現代文化について詳しく知り、直接体験してみたいと思います。また、単に講義内容を理解して覚えるのではなく、問題を批判的に考えて探究する姿勢を育みたいと思います。交換留学生として1年間日本で過ごしながら、ただ言語を翻訳するように言うのではなく、私が思ったことについて自由で完全な日本語で言って、日本人と本当に「疎通」することができる人になりたいと思います。



韓国極東大学校
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Kim Taewan
キム・テワン さん

私は大学進学にあたって何を専攻すればいいか、将来どんな仕事をしようかと悩んだ末、言語を学ぼうと思い日本語を専攻しました。言語は学べば学ぶほどわからないことが多くあり、学ばべきことも多くなって、どんどん学びたいことが増えました。そこで教材を通じて学ぶ言語だけでなく、日本の若者言葉とか、チャットの言葉、普段の会話なども学びたいと思いました。そのためには日本で生活することが一番だといい、文教での交換留学を決めました。交換留学の期間を通じて、たくさん経験したり学んだりしたいです。日本語の実力向上はもちろんのこと、日本についての正しい理解をもって、韓国にいる友人たちにも多くのことを教えてあげたいです。日本での留学生活は、私の人生の目標や将来のために必ず役に立つものと信じています。



韓国極東大学校
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Jung Jipgyu
チョン・ジブギョ さん

私の夢は日本のアニメに関する仕事をする事です。この夢に力を入れるために日本人の考え方、日本人はどんな学校生活を過ごしているか、どんな生活をしているのか、どんな食べ物をよく食べるか、どんな映画を見るのか、こんな小さなことから日本の経済概念、宗教、日本の歴史など、大事なことで学びたいです。1年で日本人の考え全を知るのは無理かもしれませんが少しでも学ぶことができたらと思っています。留学するのは私の人生の中で一番貴重な時間になると思います。外国に出て勉強するのは自分ひとりで生きていく独立性を高めるし、どんなこともできるという自信も得ることができると思います。この留学でただ日本語を学ぶだけではなく、私に何ができるか、何ができないのかを知る留学になると思います。



カンタベリー大学
文教大学文学部
日本語日文学科所属
Rheuben Burke
ルーベン・バーク さん

私の将来の目標はニュージーランドの国際貿易関係の改善に貢献することです。その目標を達成するために文教大学の交換プログラムは完璧な機会だと思います。日本に住んだらたくさんの日本人の友達ができ、日本語の会話と読む練習をする機会が多くなり、文教大学で勉強したら私の希望の日本語レベルになることが出来ると思います。文教大学では特に歴史を勉強したいと思います。また、色々な日本文化にも興味があるので皆さんの伝統的な文化にふれたいと思います。日本の伝統的な建物、神社やお寺に行ったり、落語を見に行ったり、田舎を旅行したり、今まで経験したことがないことに挑戦してみたいと思います。文教大学で勉強することは素晴らしい機会なので、一生懸命頑張りたいと思います。



デュッセルドルフ大学
文教大学文学部
英米語英米文学科所属
Amira El Akshar
アミラ・エルアクシャー さん

私が文教大学の交換留学を希望したのは、2014年にワーキングホリデーを利用して1年間茨城県に英語教師として滞在したのがきっかけでした。それまでは単純に日本の文化や食べ物、日本文学が好きという理由でしたが、その1年間を通して日本文化はもちろん、日本人の性格、日本の風土や食文化、日本の歴史、そして私が今まで学んでこなかったその土地で使われる方言など全てが新鮮で、1年では足りないくらい皆さんの発見と勉強がそこにはありました。戻ってきてから迷わず交換留学制度のあるデュッセルドルフ大学の入学準備を始めました。今回の交換留学を通して、改めて本当の今の日本、日本の社会を目で見て、感じて、3年前以上に色々なことを深く学びたいと思います。



デュッセルドルフ大学
文教大学文学部
英米語英米文学科所属
Marina Loffing
マリナ・ロフフィン さん

私は子供のころから日本がすごく好きで大変興味がありました。特に言葉や文化はとても魅力的だと思います。文教大学に1年間留学する事できっと日本の文化や社会について色々学ぶことができ、色々な人と関わることができ、日本について学ぶいい機会になると思います。また、私は日本の推理小説が好きなのでよく読んでいますが、日本の伝統的な小説にも興味があるのでそういった本も読めるぐらいに日本語能力を向上させたいと思っています。あと色々な人と日本語で会話ができるようになりたいと思います。そのために日本語を上達させる必要があり、1年間文教大学に留学することで一番効果的に日本語が勉強できると思います。日本で色々新しい経験をし、人間としても成長したいと思っています。



FPT大学
文教大学情報学部所属
Vu Ngoc Bach
ヴー・ゴック・バック さん

ベトナムで日本語を2年間勉強してきましたが、もっとよりよい環境で学習を続けたいと思い留学を決めました。私の専攻はブリッジエンジニアリングで、外国語(日本語)ができるエンジニアを目指しています。ベトナムでは、この分野で働く人材が少ないので、国の発展に貢献できるような優れたブリッジエンジニアになりたいです。文教大学では、ベトナムでは学ぶことのできない経験をして、社会に出るためのスキルを身につけたいと思います。



FPT大学
文教大学情報学部所属
Nguyen Bao Khanh
クエン・バオ・カイン さん

私は日本についてのテレビ番組を観たことがきっかけで、子供の頃から日本に興味を持っています。ベトナムでは日本語部に入学し、日本へ行くことが出来るように努力しました。日本には独特な文化や考え方があることを聞き、母国との違いを自ら体験し、日本語と日本文化をたくさん学びたいと思っています。先生から、文教大学は授業の質が高く、人、施設共に環境が良いと聞きました。滞在中に日本の皆さんと様々なことが体験できることを楽しみにしています。

〈大学院生〉



北京外国語大学
文教大学大学院
言語文化研究科所属
Jin Weiting
キン・イティ さん

今回の日本は3回目となりますが、やはり文教大学に来て前に体験しなかったことを色々体験することができました。私は交換留学生として来ましたが、院に属しており、学部の留学生たちとのコミュニケーションが少ないのですが、どのように留学生の団体でみんなと接していくか、またどのように日本の人間関係を慣れしていくかは、私は後輩たちから教わりとても勉強になりました。そして大学院では、私の研究分野と似ている先生方のおかげで、自分の研究に役立つ資料もいただき、ゼミにも参加させていただきました。残りの時間が長いようで短いのので、無駄にせず、もっと研究に励み、日本での生活をしっかり味わっていききたいと思います。また、文教大学は留学生のために色々な活動やイベントを用意してくださっているので、これからも積極的に参加し、日本人の学生たちや留学生たちと仲良くしていきたいと思っています。

データで見る国際交流センター

文教大学では、年間300名以上の学生が、本学の海外研修や留学制度を活用して、海外に渡航しています。そして、キャンパスには120名を超える留学生が学んでいます。

平成27(2015)年度海外送出し学生数

プログラム名	期間	主管部署	派遣先大学または研修名	教育学部	人間科学部	文学部	情報学部	国際学部	健康栄養学部	経営学部	小計	合計	
海外協定校派遣留学	6ヵ月～1年未満	国際交流センター	カンタベリー大学	0	0	0	0	0	-	0	0	8	
			デュッセルドルフ大学	0	0	0	0	0	-	0	0		
			南開大学	0	0	1	0	0	-	0	1		
			北京外国語大学	0	0	1	0	1	-	0	2		
			韓国外国語大学	0	0	0	0	0	-	0	0		
			韓国極東大学	0	0	0	0	0	-	0	0		
			韓国誠信女子大学	0	0	1	0	0	-	0	1		
			FPT大学	0	0	0	0	1	-	0	1		
			コンコーディア大学	0	0	2	0	0	-	0	2		
			アーカンソー大学フォートスミス校	0	0	0	0	1	-	0	1		
エドモンズコミュニティカレッジ	0	0	0	0	0	-	0	0					
認定留学	6ヵ月	文学部	中国(9校)	-	-	4	-	-	-	4	4		
国際学部短期留学	3ヵ月	国際学部	モナシユ大学	-	-	-	-	39	-	-	39	77	
			オレゴン州立大学 ※1	-	-	-	-	31	-	-	31		
			プリンスオブソングラ大学 ※1	-	-	-	-	7	-	-	7		
海外研修	約7日～5週間	国際交流センター	アジア研修[中止]	-	-	-	-	-	-	-	0	245	
			モナシユ大学春期集中英語研修	0	2	4	0	4	0	1	11		
		教育学部	アメリカ学校教育研修	30	-	-	-	-	-	-	-		30
			人間科学部	海外人間科学研修	-	28	-	-	-	-	-		28
		文学部	北京大学日本語教育研修[中止]	-	-	-	-	-	-	-	-		0
			シドニー大学語学研修	-	-	6	-	-	-	-	-		6
			イギリス語学・文化研修 ※3	-	-	30	-	-	-	-	-		30
			コンコーディア大学短期留学・文化研修	-	-	10	-	-	-	-	-		10
			マギル大学夏期イマージョンプログラム ※2	-	-	7	-	-	-	-	-		7
			マギル大学春期イマージョンプログラム ※2	-	-	4	-	-	-	-	-		4
			マギル大学英語・文化集中プログラム ※2	-	-	7	-	-	-	-	-		7
			マルタ春期英語研修 ※2	-	-	5	-	-	-	-	-		5
			中国短期語学文化研修	-	-	10	-	-	-	-	-		10
			情報学部	ベトナム文化・産業体験研修	-	-	-	15	1	1	-		17
		モンゴル異文化理解・共生体験研修	-	-	-	11	1	-	-	-	12		
		国際学部	ホスピタリティ・マネジメント研修	-	-	-	-	14	-	-	-		14
			リゾート・マネジメント研修	-	-	-	-	20	-	-	-		20
			英国カルチュラル・ツーリズム&英語研修[中止]	-	-	-	-	-	-	-	-		0
			ニューヨーク国連研修	-	-	-	-	18	-	-	-		18
		経営学部	北米地域(ニューヨーク)研修 ※2	-	-	-	-	-	-	-	16		16

※1 留学出発は、前年度中に出発しているが、H27年度実績数としてこの表に含む。
 ※2 H27年度は、パイロットプログラムとして実施された。
 ※3 H27年度は、大学院言語文化研究科の学生1名も参加。

平成28(2016)年度私費外国人留学生数・外国人研究生数・外国人留学生別科生数

所属別外国人留学生数			出身国別留学生数	
	学部・研究科名等	人数	国・地域	人数
学部生	教育学部	0	中国	95
	人間科学部	0	韓国	5
	文学部	11	台湾	1
	情報学部	23	マレーシア	3
	国際学部	20	バングラデシュ	1
	経営学部	4	フィリピン	0
大学院生	人間科学研究科	0	ベトナム	2
	言語文化研究科	19	タイ	1
	教育学研究科	1	アメリカ合衆国	1
	情報学研究科	3	合計	109
	国際協力学研究科(※1)	1		
研究生	文学部	9		
	情報学部	1		
外国人留学生別科		14		
合計		109		

左記学生数は、H28年5月1日現在在留資格留学を有する者となります。
 (※1) H27年4月学生募集停止

交換留学生受け入れ数(学部生)

協定校名	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	計
カンタベリー大学	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	18
デュッセルドルフ大学	2	2	1	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	36
韓国外国語大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	1	0	2	2	2	0	5
韓国極東大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	0	2	2	2	2	2	2	18
北京外国語大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	2	0	8
韓国誠信女子大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	6
FPT大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	6
北京師範大学珠海分校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0	2

留学・海外研修等に係る減免及び奨学金

下記の減免及び奨学金等は、条件を満たした方のみ対象です。申請手続き等については、国際交流室に確認してください。

【協定校派遣留学生への支援】 ※大学院を含む

対象となる海外協定校名	支援内容	
全ての派遣留学先大学	留学先大学の授業料免除	海外協定校派遣留学制度で留学する学生は、協定に基づき、原則として留学先大学の授業料が免除されます。※1 【免除額】 給付型:留学当該セメスターの授業料及び教育充実費の一部
デュッセルドルフ大学	松永日独国際交流奨学金	本学の元教員の寄付により、デュッセルドルフ大学と文教大学の交換留学制度の継続を援助するため設立された奨学金です。 【奨学金金額】 給付型:1名につき30万円または60万円(年度内の派遣人数により、受給金額が異なります)
エドモンズ・コミュニティ・カレッジ (EdCC)	EdCC協定校派遣留学奨学金	EdCCとの協定に基づき、EdCCから本学にコミッションがある場合、そのコミッションが学業のため留学生に奨学金として支給されるものです。 【奨学金金額】 給付型:留学時の協定内容やレートにより異なる

※1 派遣留学先の授業料が本学に納入すべき学納金を超えることが留学前にわかっている場合は、本学の授業料が免除され、派遣先大学の授業料を納入します。

【短期留学参加者】

対象となるプログラム名	支援内容	
文学部プログラムA、プログラムB	短期留学に係る補助	海外に短期留学する場合、学生の費用負担の軽減を図り、修学を支援することを目的とした補助金です。 【補助金額】 給付型:北米、欧州及び豪州地域…9万円
国際学部 短期留学	短期留学に係る補助	上記以外の地域……………6万円

【海外研修プログラム参加者】

対象となるプログラム名	支援内容	
コンコーディア大学短期留学プログラム	田辺武光国際交流奨学金	本学元教員の寄付により、文学部コンコーディア大学短期留学プログラムに参加する学生のうち、選抜された学生に奨学金が支給されます。 【奨学金金額】 給付型:年度により異なる

外国人留学生・交換留学生への減免及び奨学金

下記の減免及び奨学金等は、条件を満たした方のみ対象です。申請手続き等については、国際交流室に確認してください。

私費外国人留学生向け	学部生	文教大学私費外国人留学生特待生	学業と人物が優秀な学生に対し、その人材確保と入学後の経済的負担を軽減することを目的とした制度です。 【支援内容】 若干名 入学金免除、給付型:月額3万円
	大学院生	文教大学私費外国人留学生に対する奨学金	外国人留学生の留学に係る活動を助成することを目的とした制度です。 【対象】 私費外国人留学生のうち、人物、学業が優秀で奨学金の給付を適当と認められる者 【支援内容】 給付型:月額3万円
		私費外国人留学生の学納金減免	経済的理由により修学が困難な私費外国人留学生の経済的負担を軽減し、修学を推奨することを目的とした制度です。 【支援内容】 当該年度授業料の3割を限度に減免
交換留学生受け入れ向け	学部生	松永日独国際交流奨学金	本学の元教員の寄付により、デュッセルドルフ大学と文教大学の交換留学制度の継続を援助するため設立された奨学金です。デュッセルドルフ大学への派遣留学生及び交換留学生(受入れ)に支給されます。 【奨学金金額】 給付型:1名につき30万円または60万円(年度内の派遣人数により、受給金額が異なります)
	学部生・大学院生	本学の学納金免除	協定に基づき、原則として文教大学の授業料が免除されます。 【免除額】 給付型:留学当該セメスターの入学金、授業料、教育充実費
		アジアからの交換留学生に対する住居補助	アジアの国・地域からの交換留学生に対して住居に係る経費の一部を補助し、本学への留学の可能性を広げ、今後ますます重要となるアジアの大学及び学生との交流の深化及び活性化を図ることを目的とした補助です。 【支援内容】 給付型:住居費の50%または75%が補助されます。出身地域により異なります。

危機管理セミナー開催

海外に渡航する学生・教職員（海外研修引率者を含む）にとって、海外旅行や海外研修の際の危機（リスク）把握と対応は、年々大きな課題となっています。海外リスクマネジメントに取り組む上で重要なことは、学生・教職員の危機意識を高め、予測しうるリスクに対し、可能な限り事前に対策を講じておくことが挙げられます。国際交流センターでは、海外渡航にあたり、各人各部署がどのようなリスクがあるか、それに対しどのような準備をしておくべきかを考えるために、危機管理オリエンテーションを企画しています。このオリエンテーションは、海外渡航者向けの一般的な危機管理に関する情報提供を行い、学生・教職員の危機意識を高めるために毎年開催されています。



危機管理オリエンテーション（越谷校舎）の様子

越谷校舎

2017年1月11日（水）

湘南校舎

2017年1月18日（水）

※2017年度の開催日時は掲示にて連絡します。

語学支援

越谷校舎

越谷校舎には、4号館1階に「多言語交流室」があります。この部屋には英語や中国語、ロシア語などの語学教材や書籍、ビデオ、DVD、新聞、雑誌などがあり、自由に閲覧することができます。また、週に数回、ネイティブ教員による語学講座を実施し、昼休みや授業の空き時間は、外国語を使って留学生と交流する学生でにぎわっています。越谷校舎所属の学生はどなたでも利用できます。ぜひ一度足を運んでみてください。

◆場所：越谷校舎4号館1階 ◆開室：10時～18時（月～金）



湘南校舎

湘南校舎には、Language Garden（外国語学習ラウンジ）という教室があります。英語をはじめとした外国語の雑誌やDVDを見たり、本を読んだり、先生や友達とお喋りをしながら楽しく外国語を学習できる場所です。ハロウィンパーティーやクリスマスパーティーなどの季節イベントも開催されています。「日本語は使用禁止」です。どなたでも気軽に利用できますので、自由にお入りください。

◆場所：湘南校舎6号館2階 ◆開室：9時～18時30分（月～金）



検定・認定試験

下記の表は応募条件とされる語学検定および認定試験の一覧です。

語学力をどう伸ばすか、何年次で応募するかなど、留学を目指す人は入学した時点でしっかり計画を立ててください。

※下記は予告なく変更される場合があります。必ず事前に各検定・認定試験の受付機関にお問い合わせください。

TOEFL®

Test of English as a Foreign Language

試験内容 インターネットで配信された問題をコンピュータの画面上で解答
Listening/Reading/Writing/Speakingの4技能を総合的に測定する

検定料 US\$235～US\$275 ※申込時期によって異なります

試験日程 試験は週末に毎月複数回行われる

申込方法 オンライン、電話または郵送のいずれかで申込
申込締切は試験日の4週間前～4日前
※申込方法によって異なります

TOEFL®開発・実施期間：ETS (Educational Testing Service)
<http://www.ets.org/toefl>

TOEFL®テスト日本事務局 <http://www.cieej.or.jp/toefl/>

IELTS

International English Language Testing System

試験内容 Listening:約40分、Reading:60分、Writing:60分
Speaking:11～14分
Speakingは翌日以降行われることもある

検定料 25,380円

試験日程 毎月2～3回実施（東京会場の場合）

申込方法 インターネットまたは郵送で申込
申込締切は試験日の約5週間前
※申込方法によって異なります

IELTS <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

英検

実用英語技能検定

試験内容 一次試験：筆記（90分）、リスニング（約25分）
二次試験：英語での面接（約8分）
※受験級により異なります ※上記は準1級の場合

検定料 6,900円 ※準1級の場合

試験日程 毎年3回実施
一次試験：1月、6月、10月の日曜日
二次試験：2月、7月、11月の日曜日

申込方法 インターネット、コンビニエンスストアまたは特約書店で受付
申込締切は試験日の3～4週間前 ※申込方法によって異なります

財団法人日本英語検定協会 <http://www.eiken.or.jp/eiken/>

独検

ドイツ語技能検定試験

試験内容 筆記（60分）、聞き取り（約30分）
※受験級により異なります ※上記は3級の場合

検定料 6,500円 ※3級の場合

試験日程 毎年2回、日曜日または祝日に実施
夏期：6月、冬期：12月

申込方法 郵送、インターネットで受付
申込締切は試験日の約6～7週間前

独検事務所 <http://www.dokken.or.jp/>

HSK

漢語水平考試：Hanyu Shuiping Kaoshi

試験内容 聞き取り（約35分）、読解（30分）、作文（15分）
※受験級により異なります ※上記は3級の場合

検定料 5,184円 ※3級の場合

試験日程 毎年4回
3月、6月、9月、12月の土曜日または日曜日に実施
東京のみ1月、4月、5月、7月、10月にも実施

申込方法 インターネットまたは郵送で受付
申込締切は試験日の約1ヶ月前
※申込方法によって異なります

HSK日本実施委員会 <http://www.hskj.jp/>

韓国語能力試験

Test of Proficiency in Korean / TOPIK

試験内容 聞き取り：30問、読解：40問
試験時間は聞き取りおよび読解合わせて110分
※受験級により異なります ※上記はTOPIK Iの場合

検定料 3,500円 ※TOPIK Iの場合

試験日程 年3回
4月、7月、10月の日曜日に実施

申込方法 郵送、インターネットまたはコンビニエンスストアで受付
申込締切は試験日の約3ヶ月前 ※申込方法によって異なります

公益財団法人韓国教育財団 <http://www.kref.or.jp/examination>